

令和元年度 保健・体育科 男子 授業充実（改善推進）プラン

昨年度のプランの検証

授業規律のさらなる向上に努めてきた。特に、忘れ物やチャイムでの授業開始、宿題・レポートなどの提出物などを徹底して行った。その成果として、ほとんどの生徒が意欲的に授業に参加し、主体的に各種目に取り組む態度や姿勢が身に付いてきた。

授業規律が確立したので、より充実した授業内容（グループ学習や課題別学習など）と体力の向上を目指すことができるようになってきた。今後は、さらなる授業改善に取り組み、各種運動の楽しさ喜びを味わわせ、生涯にわたって運動に親しむ資質や体力の向上を目指して行きたい。

課題（各観点について）

観 点	分 析
運動や健康・安全への 関心・意欲・態度	多くの生徒は意欲的に授業に取り組むことができている。しかし、まだまだ運動することが不得意な生徒や継続して努力することが苦手な生徒もおり、まずは授業に前向きに参加する姿勢を身に付けさせることが課題である。さらに、運動が得意な生徒の中でも、好きな種目では積極的に取り組むが、嫌いな種目や辛い内容などでは後ろ向き姿勢をとる傾向がみられる。
運動や健康・安全に についての思考・判断	自ら進んで課題を見つけ、その課題を解決するために積極的に授業に取り組む生徒がまだまだ少ない。自己評価カード（各学期）や学習カード（各種目）を活用しているが、感想や反省・課題など、しっかり記入できない生徒も多くみられる。少しずつ定着してきてはいるが、今後も継続的に取り組んでいく必要がある。
運動の技能	体力面では、定期的に持久走（1500m走）の測定を行い、学習カードに記録し記入させ、自己の記録の向上と課題を考えさせることで全校的に全身持久力の向上が見られた。その反面、球技などでは、基礎的技術の習得ができていないのに、ゲームでの一時的な楽しさにだけになってしまっている。ゲームを行う中で、チームや個人の課題を見つけ解決していくような意識がたりない。
運動や健康・安全に についての知識・理解	各種目のルールや方法などを、しっかりと理解している生徒が多くなってきた。しかし、その内容を実際の授業の中で生かせない生徒が多く見られる。ルールなどの知識や各種目の技能習得のポイントなどが、生徒の技能習得の向上や各種目の質の向上につながらない。

授業改善のポイント（調査結果等を踏まえて）

【関心・意欲・態度】
 授業規律のさらなる向上を図り、全員が意欲的に授業に取り組めるように授業改善を図る。特に、各種目の特性やポイント、楽しさを具体的に理解させ、積極的に授業に参加する態度の育成に努める。

【思考・判断】
 自己評価カードや学習カードを積極的に活用し、生徒自身が自分の課題に気づくような授業プランを行う。さらに、その場の状況に合わせた言動を考えさせ、進んで行動にあらわせられるような助言を行う。

【技能】
 各種目において、基礎・基本の技能の重要性を理解させ、基礎練習などにも意欲的に取り組ませ効果的な技能の習得を目指す。さらに、記録測定やゲーム等を通し、自己の課題を見つけ進んで解決できる態度の育成に努める。

【知識・理解】
 種目の特性やルール、基礎・基本の技能のポイントをしっかりと理解させた上で授業に望ませ、より充実した活動内容を図り、効果的に技能の向上やゲーム内容の質の向上を図っていく。

授業改善策

授業規律の向上にともない、さらなる授業内容の充実を図る。特に、各種目の特性に合わせた課題解決型の授業を行う。3年間を見通した計画を立て、3年後にはどの程度まで身に付けさせるかを考えた授業展開を図る。その為にも、年間授業計画や種目の単元計画をしっかりとたて、授業開始時には本時の課題と目標を的確に伝え、目的を持った授業展開を行う。さらに、学習カードを積極的に活用し、一人一人の課題に合わせた的確なアドバイスを目指し、かつ、生徒同士が相互にアドバイスできるようなグループ学習なども多く展開していく。

また、引き続き全身持久力の向上にも力を入れ、ランニングや流しを継続して取り組み、定期的に持久走（1500m）の測定を行い、記録カードに記入させる。次回への反省や課題を考えさせたり、記録の変化を折れ線グラフで表示したりして、意識・意欲を高め、全身持久力の向上を図る。